

平成 29 年度 9 月補正予算の概要

平成 29 年 9 月 7 日

1 予算規模（一般会計）

補正額	2, 056 百万円（平成 28 年度 9 月補正 28, 161 百万円）
補正後	363, 460 百万円（対前年度同期 386, 163 百万円 △5. 9%）
補正前	361, 404 百万円
	〔 財 源 国庫支出金 98 百万円、県債 245 百万円、 基金繰入金 1, 411 百万円、繰越金 228 百万円 など 〕

2 主な事業

○ 鳥取県中部地震からの復興

- ・ 震災復興活動特別支援事業 …………… 5 百万円
ボランティア団体等が行うブルーシート撤去等の住宅修繕活動に対する新たな支援制度を創設する。（中部地震復興本部事務局）
- ・ 「とっとり年は鳥取へキャンペーン」（「ぐるっと山陰」誘客促進事業）…………… 6 百万円
中部地震により落ち込んだ観光需要の回復を図るための県内周遊のバス旅行商品造成支援事業について冬のオフシーズンの観光誘客を後押しするため予算を増額する。（観光戦略課）
- ・ 空き家対策支援事業 …………… 2 百万円
市町村による空き家除却を促進するため県補助上限額を引き上げるとともに、中部地震により危険空き家が増えたことを踏まえ再度空き家の実態把握に取り組む市町村を支援する。（住まいまちづくり課）
- ・ 住宅修繕促進支援事業 …………… 2 百万円
中部地震により被害を受けた住宅修繕のため県外からの職人招致を支援する事業について、住宅修繕を促進するためにはさらなる職人招致が必要となることから予算を増額する。（住まいまちづくり課）

○ 九州北部豪雨を踏まえた防災対策の強化

- ・ 総合的な流木対策検討事業 …………… 82 百万円（※一部公共事業において再掲）
九州北部豪雨を踏まえ早急に流木対策が必要な危険箇所を抽出し、今後の対策を検討する。
ため池…防災重点ため池のうち集水域が山林を主体とするもの（74 箇所）の中から集水域の地形、地質等を調査し、流木が流入するおそれのあるため池を抽出。
河川…モデル河川における流木シミュレーションにより危険箇所の判定指標を設定し、県管理河川（295 河川）の中から流木被害危険箇所を抽出。
治山…既存資料を活用し土砂災害警戒区域（2,600 箇所）の中から流木被害危険箇所を抽出。（農地・水保全課、河川課、治山砂防課）

- ・適切なダム放流情報伝達事業 …………… 1百万円
各ダム管理者（県、国、市町村、中国電力）と関係市町村を対象に住民に対するダム放流情報の連絡体制及び防災行政無線等を活用した情報伝達方法等について検討会を開催するとともに情報伝達訓練を実施する。（河川課）

○ 日欧EPA対策

- ・県内企業海外展開サポート事業 …………… 7百万円
日欧EPAの大枠合意等を踏まえ、海外展開戦略検討に向けた産学金官で構成するワーキンググループの設置やセミナーの開催、企業の海外展開等の支援（補助金、専門家派遣）を行う。（通商物流課）
- ・鳥取和牛緊急増頭対策事業 …………… 7百万円
鳥取和牛のブランド化推進に向け生産拡大を図るに当たって農家等が子牛価格の高騰により規模拡大を躊躇することがないようにするため、規模拡大に取り組む農家や農業団体等に対して肥育素牛購入費用の一部を助成する。（畜産課）
- ・生乳生産拡大支援事業 …………… 40百万円
乳製品の輸出量、県内生乳生産量の増加のため、近年の乳牛価格高騰を踏まえた増頭に取り組む農家や農業団体等に対する乳牛導入費用の助成制度を創設する。（畜産課）
- ・先駆的木造建築物普及推進事業 …………… 2百万円
新たな木質部材を活用した木造建築の推進を通してEPA合意に対応できる本県林業・木材産業のあり方を探るため、県内設計・建築関係者をはじめとする県民を対象としたシンポジウムを開催する。（県産材・林産振興課）
- ・「食のみやこ鳥取県」輸出促進活動支援事業 …………… 4百万円
10月にパリで開催される日本酒試飲イベントへの出展を契機にEUバイヤーを招聘し県産品の輸出拡大を図るとともに韓国の百貨店で県産品及び観光PRのためのフェアを開催する。（食のみやこ推進課）
- ・沖合漁業漁船代船建造支援事業 ……………（H30～46債務負担行為 107百万円）
沖合底びき網漁船の中古船のリシップ又は新造を行い漁業者にリースする事業に取り組む鳥取県漁協と田後漁協に対して建造費、改修費の一部を助成する。（水産課）

○ 観光・交流の促進

- ・国際航空便就航促進事業 …………… 26百万円
今年度予定されている国際チャーター便（台湾、韓国など）の運航の増加に伴い、着陸料支援、空港施設使用料支援、ツアー造成経費支援のための補助金を増額する。（観光戦略課）
- ・「平昌冬季オリンピック・パラリンピック」開催記念交流推進事業 …………… 6百万円
平昌冬季オリンピック・パラリンピックに文化公演団を派遣するとともに、五輪の観戦客が多く利用する施設の周辺等に本県の広報ブースを出展し、本県の魅力をPRする。（交流推進課）

- ・境港管理組合負担金（国際クルーズ旅客受入機能高度化事業）…………… 7百万円
（事業費 102百万円）

大型クルーズ船が着岸した際、効率的な出入国審査が実施できるよう移動式の屋根付き通路及び大型テントを昭和南岸壁に整備する。（空港港湾課）

- ・空港ターミナル周辺施設整備事業…………… 49百万円（※公共事業において再掲）

鳥取空港の駐車場の収容能力不足に対応するため、駐車場の増設に係る詳細設計を行うとともに空港出入口から西側の駐車場に向かう歩道の屋根を整備する。（空港港湾課）

○ その他

- ・「故郷・鳥取で谷口ジローさんを偲ぶ会」開催事業…………… 2百万円

本年2月に亡くなられた谷口ジロー氏を「偲ぶ会」（追悼の辞、故人ゆかりの映像上映や故人を語る座談会）を地元の有志で構成する実行委員会との共催で開催する。
（まんが王国官房）

- ・とっとり子ども未来サポートネットワーク活動支援事業…………… 3百万円

官民が一体となってこども食堂を持続可能にするための仕組（食材提供、スタッフ確保）を運用するため、とっとり子ども未来サポートネットワークの事務局に支援員を配置する。
（福祉保健課）

- ・県外に打って出る「とっとり IoT 推進ラボ」連携促進支援事業…………… 6百万円
（H30債務負担行為 10百万円）

「とっとり IoT 推進ラボ」が国の「地方版 IoT 推進ラボ」として選定されたことを受け、県内企業と県外企業等が連携して行う IoT 活用モデル（商品）開発の取組に対して助成する。
（産業振興課）

- ・河川維持管理費…………… 13百万円（※公共事業において再掲）

冬季の豪雪時に道路除雪等で発生した排雪を迅速に受け入れるため、県管理河川の河川敷を排雪場として活用するために必要な進入路を拡幅する。（河川課）

○ 公共事業 264百万円

- | | | | |
|---|---------------------------------|--------|--|
| 〔 | ・補助事業（農業農村整備） | 27百万円 | |
| | ・単県事業（道路橋りょう、河川、砂防、空港、治山） | 237百万円 | |
| | （農地・水保全課、道路建設課、河川課、治山砂防課、空港港湾課） | | |